

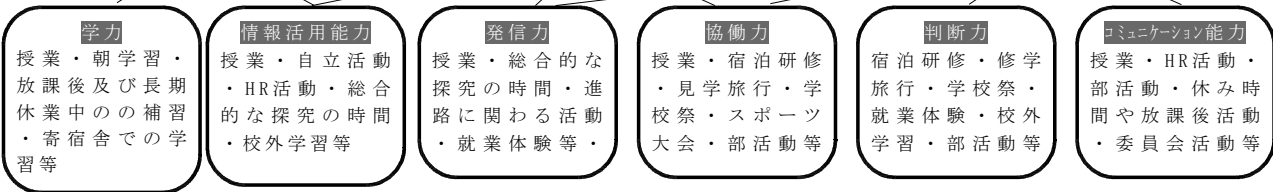
# 令和8年度 北海道高等聾学校 グランドデザイン

目指す学校像	目指す生徒・学生像（校訓）	目指す教師・職員像
保護者と地域の理解と信頼のもと生徒・学生と教師・職員が、自分のもてる力を発揮できる学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで実行する人になろう（自主・自立）</li> <li>・働くよろこびを知る人になろう（勤労・責任）</li> <li>・伝え合うよろこびを知る人になろう（対話・協働）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・学生の内面を理解し信頼される教師・職員</li> <li>・専門性や指導力の向上のため学び続ける教師・職員</li> <li>・互いに支え合い、組織的・計画的に業務を推進する教師・職員</li> </ul>

学校教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた教育を進め、言語的思考力と自ら学ぶ力を育てる。</li> <li>・自己理解を深め、的確にコミュニケーションを行う力を育てる。</li> <li>・集団生活をとおして、ものの見方、考え方を広げ、個性を伸長し豊かな人間性を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（知識・技能）</li> <li>（思考力・判断力・表現力）</li> <li>（学びに向かう力・人間性等）</li> </ul>

本年度の重点	
<b>&lt;重点教育目標&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ喜びを実感できる授業づくりと確かな学力の育成</li> <li>・多様なコミュニケーション方法の習得と活用</li> </ul>	<b>&lt;重点経営目標&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な働き方の推進と質の高い教育活動の実現</li> <li>・同僚性の向上と心理的安全性を目指した学校づくり</li> </ul>

育成を目指す資質・能力（何ができるようにするか）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的・職業的自立に向けて職業観の育成、勤労意識を向上させることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力の向上を図ることができる。</li> </ul>



資質・能力の育成に向けた具体的な取組（何を学ぶのか・どのように学ぶのか）			
取組事項	① 基礎学力の向上	② 進路指導の充実	③ コミュニケーション能力の向上
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科・教科による日常の学習や朝学習、放課後等の補習などで、基礎学力の向上を図る。</li> <li>・各学科・教科の授業だけではなく、あらゆる教育活動の機会に日本語の力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動やLHRの時間を中心に、自己選択・自己決定に向けたレジリエンスを養う。</li> <li>・進路学習だけではなく、各学級活動や面談などを通して自己理解を深められるようにする。</li> <li>・進路実現に向け、進学や就職に関する早期からの情報提供を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の社会生活を意識し、自立活動やLHRの時間を中心に、コミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>・各学科・教科等の授業において、書いて伝える力の向上を図る。</li> <li>・場に応じた言動についての理解を、日常生活の場を捉えて深められるようにする。</li> </ul>
支援方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを効果的に活用した分かる授業を推進する。</li> <li>・習熟度別の学習をとおして、個に応じた支援を行う。</li> <li>・各学科・教科にて適切な観点別評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の進路希望に応じたグループ分けや、実態に応じた支援を行う。</li> <li>・ICTを効果的に活用し、自ら進路の情報を収集できるような支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活上の出来事を事例として扱うなどをとおして、より具体的に知らせていく。</li> <li>・卒業生体験講話や社会見学、就業体験等の事前事後学習を個に応じて行う。</li> </ul>
評価指標	学校評価項目3～7平均値：（R7年度 3.1）		学校評価項目15～17平均値：（R7年度 3.2）

指導体制（実施するために何が必要か）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した体験活動</li> </ul>

家庭・地域との連携・協働（何が必要か）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会（CS）の活用</li> </ul>

同僚性と心理的安全性の向上 ～ウェルビーイングな学校づくり～